

JEITA

電子情報技術産業協会規格

Standard of Japan Electronics and Information Technology Industries Association

JEITA CP - 2316

磁気テープアナログ録音再生システム

Magnetic Tape Analogue Sound Recording and Reproducing System

2005年3月制定

作 成

AV & IT 機器標準化委員会

Technical Standardization Committee on AV&IT Equipment

発 行

社団法人 **電子情報技術産業協会**

Japan Electronics and Information Technology Industries Association

目 次

第1章 テープレコーダの用語及び一般条件	1
1.1 用語(1)／一般	1
1.2 用語(2)／録音レベル	2
1.3 用語(3)／入出力端子のインピーダンスとレベル	3
1.4 用語(4)／テープレコーダ(又はデッキ)の種類	4
1.5 ライン入出力条件	6
第2章 カセット式試験用テープレコード	8
2.1 録音特性測定用	8
2.2 基準レベル及び周波数特性測定用(1)	8
2.3 基準レベル及び周波数特性測定用(2)	11
2.4 テープ速さ及びワウ・フラッタ測定用	14
2.5 実用最大出力及び電池持続時間測定用	17
2.6 トラッククロストーク測定用	17
2.7 チャンネルセパレーション測定用	18
第3章 テープレコーダの測定方法	20
3.1 測定条件	20
3.1.1 標準測定条件	20
3.1.2 規定再生状態	20
3.1.3 規定録音状態	20
3.2 機械的特性測定	21
3.2.1 テープ速さの測定	21
3.2.2 ワウ・フラッタの測定	24
3.2.3 ワウ・フラッタメータ	27
3.2.4 テープの起動、停止及び早巻時間の測定	31
3.3 電気的特性測定	35
3.3.1 周波数特性の測定(1)	35
3.3.2 周波数特性の測定(2)	36
3.3.3 SN比の測定(1)	37
3.3.4 SN比の測定(2)	42

JEITA CP-2316

3.3.5	高調波ひずみ率の測定	43
3.3.6	トラッククロストーク及びチャンネルセパレーションの測定	46
3.3.7	消去効果の測定	54
3.3.8	レベル変動の測定	55
3.3.9	最大録音レベルの測定(1)	57
3.3.10	最大録音レベルの測定(2)	58
3.3.11	周波数変調雑音の測定	58
3.3.12	ビートレベル減衰量の測定(1)	61
3.3.13	ビートレベル減衰量の測定(2)	62
3.3.14	ステレオ位相差の測定	65
第4章 付属機構		67
4.1	カセットテープレコーダ用テープカウンタ	67
4.2	テープレコーダ用ピークレベルインジケータ	68
4.3	テープレコーダ用ピークレベルインジケータにおける基準録音レベルについて	70
解 説		72
I.	改訂の経緯と内容	72
II.	旧規格の解説	73
III.	「2.2.4 (3) 録音角度」及び「2.3.4 (3) 録音角度」	73
IV.	数値の小数点及び3けた区切り記号の扱い	74
V.	審議委員	74
旧解説		75
I.	制定の目的	75
II.	形式について	75
III.	変更になった主な内容	75
IV.	主な項目についての説明	78
V.	審議委員	86

磁気テープアナログ録音再生システム

Magnetic Tape Analogue Sound Recording and Reproducing System

第1章 テープレコーダの用語及び一般条件

1.1 用語(1)／一般

1.1.1 録音トラック(Recording Track) 録音トラック(以下、トラックという。)とは、録音内容を含んでテープ上に形成される帯状録音部分をいう。一般にこのトラックは、テープの長さ方向に平行であって2本が平行に並ぶ場合を2トラックといい、4本の場合を4トラックという。なお、録音がテープの全幅にわたる場合をシングルトラック(又はフルトラック)という。

1.1.2 チャンネル(Channel) チャンネルとは、テープに録音トラックを形成するための録音信号の系統又は録音されたテープを再生するための再生系統をいう。

1.1.3 モノホニック方式(Monophonic System) モノホニック方式とは、音源から得られた単一の信号を単一の録音再生系統を通じてモノホニック(以下、モノという。)に利用する方式をいう。

1.1.4 ステレオホニック方式(Stereophonic System) ステレオホニック方式(以下、ステレオという。)とは、音源から得られた2系統の信号を2系統の録音再生系統を通じて立体音響効果を得る目的をもって利用する方式をいう。

1.1.5 テープ速さ(Tape Speed) テープ速さとは録音又は再生時に磁気録音テープの走行する速さを行い、Hi-Fi用を含む一般に使用されるテープ速さの種類、定格及び呼びは**表1**のとおりとする。

表 1

定 格 (cm/s)	呼 び (cm/s) *
38.1	38
19.05	19
9.53	9.5
4.76	4.8
2.38	2.4

注* 呼びのときは cm/s をセンチと呼んでもよい。

1.1.6 ワウ・フラッタ(Wow and Flutter) ワウ・フラッタとは、録音又は再生動作においてテープの速さの変動に起因して生ずる再生周波数の動揺をいい、その動揺の比較的遅いものをワウ、早いものをフラッタという。